



なかま

発行 交野市ボランティアグループ連絡会

(交野市ボランティアセンター内)

V連絡会 E-mail vltr94@leto.eonet.ne.jp

Vセンター E-mail katabora1994@katano-shakyo.com

ボランティアを
紹介してほしい人
ボランティア活動を
はじめたい人
ボランティアセンター
にお問い合わせください
(☎ 8 9 4 - 3 7 3 7)

被災地ニーズにマッチング体験



の機能や役割について講演をいただきました。

午前からは昨年の大阪北部地震や台風21号の被害状況の報告、今後の備えとして南海トラフ巨大地震を中心に災害リスクや防災対策の紹介がありました。また一般社団法人ピースポート災害ボランティアセンター垣貫氏より、「被災者中心・地元主体・協働」の災害3原則をキーワードに、災害ボランティアセンターの機能や役割について講演をいただきました。

午後からは災害ボランティアセンターでの対応を想定したニーズのマッチング体験を12のグループに分かれてカードを用いて行ないました。

具体的に起こりうる災害時の状況設定(発災から3日・発災から2週間・発災から2ヶ月)に合わせて変化するニーズにどう対応するかを話し合いました。

私のグループは9人(社協職員3人、ボランティア6人)で、まず被災された方からの支援要請が10パターンあり、その中での優先順位を決め、支援内容に応じたボランティアの配置を考えねばなりません。限られた人数の中で、ニーズにマッチするボランティアが充足できるのか、この難問に9人で知恵を絞りりましたが、最適な結果にたどり着けたのか講師をいただく時間がありませんでした。とてもいい体験をすることができました。

この研修会でふと思いました。実際に災害が起きた時、何人

のコーディネーターがいるのだろうと、このマッチング体験は回を重ねないと身につけるのは大変だと思いました。これからも研修を続けて欲しいと思います。

(西崎二三江)

ひとり一人に寄り添う支援

災害ボランティアセンターが立ち上がったときに、被災者の事情を考えて、ひとり一人に寄り添った支援をしていくこと、普段からのネットワークの大切さ、カードを使つてのマッチング体験など有意義な研修会でした。(K)

同じ災害は一つもない

「同じ災害は一つもない」と講師の垣貫さん。同じ災害はひとつもないのと同じように支援のあり方も、その時々で異なることに留意して、的確な情報収集の大切さを再認識させられた。(Y)

大社協・災害ボランティアコーディネーター研修会

大阪府社会福祉協議会主催の災害ボランティアコーディネーター研修会が1月31日(木)、日本赤十字社大阪府支部の後援を得て開催され100数人が集まりました。交野市から災害ボランティア9人が参加しました。

午前からは昨年の大阪北部地震や台風21号の被害状況の報告、今後の備えとして南海トラフ巨大地震を中心に災害リスクや防災対策の紹介がありました。また一般社団法人ピースポート災害ボランティアセンター垣貫氏より、「被災者中心・地元主体・協働」の災害3原則をキーワードに、災害ボランティアセンターの機能や役割について講演をいただきました。

午後からは災害ボランティアセンターでの対応を想定したニーズのマッチング体験を12のグループに分かれてカードを用いて行ないました。

具体的に起こりうる災害時の状況設定(発災から3日・発災から2週間・発災から2ヶ月)に合わせて変化するニーズにどう対応するかを話し合いました。

私のグループは9人(社協職員3人、ボランティア6人)で、まず被災された方からの支援要請が10パターンあり、その中での優先順位を決め、支援内容に応じたボランティアの配置を考えねばなりません。限られた人数の中で、ニーズにマッチするボランティアが充足できるのか、この難問に9人で知恵を絞りりましたが、最適な結果にたどり着けたのか講師をいただく時間がありませんでした。とてもいい体験をすることができました。

この研修会でふと思いました。実際に災害が起きた時、何人



講師の垣貫紀彦氏

ボランティア インタビュー-71 岡本彰子さん(アリス)



ボランティア活動を始めたきっかけは

母の看病や介護のため、勤め先を早期退職して、石川県の実家に戻っておりましたが、残念なことに母が亡くなりました。大阪に戻ってから、私にもできる何かを見つけようと思い、ボランティアセンターを訪れ相談に乗っていただき、子育て広場「アリス」への入会を決めました。

子どもに癒やされて

幼稚園に入園するまでの乳幼児が母親に連れられてきます。むずかる子どもや、活発な子どもと様々です。おもちゃで遊んでいる時などは見守りながら一緒に遊ぶことで、より子どもを身近に感じることができ

き、むしろ私自身が子どもに癒やされていると思うばかりで、子どもたちに感謝しています。

プリザードフラワーで気分転換

月に一度プリザードフラワー(本物の花「生花」の水分を抜き取り、代わりに保存料や着色料を注入して、見た目が変わらないように加工された花)教室に通っています。時には自分で材料を買って作ることもありま

す。作っているときは無我夢中で、何もかも忘れさせてくれます。その他には友だちとのランチ、美味しい食事をしながらのおしゃべりはストレスの発散になりますね。

豊かな人生を送るために

あるお方から人生を豊かに送るには四つのことがあると聞きました。それは「健康、お金、趣味、友だち」だと、どれもが大切なものなので、私もこのことに留意しながら毎日楽しく過ごしていけたらと思っています。

リーダー会議(2月26日)

- ☆会長挨拶
 - ・小地域ネットワーク活動リーダー研修会(2月13日開催)での担い手確保に関する実践で吹田市・五月が丘地区福祉委員会の「福祉施設との協働による実践」、阪南市・桃の木台校区福祉委員会「子ども福祉委員夢かなえ隊の実践」の活動事例の一端が紹介されました
- ☆連絡会より
 - ・大阪府市町村ボランティア連絡会代表者会議&研修交流会報告(2頁参照)
- ☆各グループから
 - ・「玉手箱」2月10日、青少年指導委員会主催の映画会におもちゃづくりで参加、3月10日の環境フェスタでもおもちゃづくりで参加
 - ・「さつき」2月8日、枚方市の手話グループと交流会
 - ・その他、新規加入ボランティアの定着に関して意見交換行ないました
- ☆Vセンターから
 - ・次年度のリーダー・サブリーダーの選出を依頼(3月26日までに報告)
 - ・センターFAX番号変更(2頁参照)
- ☆会計研修
 - ・リーダー会議終了後、会計担当者を交えて実施しました

編集 後記



冷蔵庫の野菜室の引き出し奥などに氷ができてしまい、取っても取っても、またすぐに氷が……。半ドアのような状況で無駄な電気代、食品の保存状況も悪くなる。夏場はアイスの居場所がないということ、思い切つて冷蔵庫の買い換えを決断しました。400リットルから500リットルに容量が大きくなりました。

冷凍保存がたっぷりできるので、買いためができるし、作り置きが流行っているようなので、休みの日には料理の腕を振るってみようと思つています。夏場は野菜室も、2リットル飲料や主人の瓶ビールでパンパンになりそうですが、冷凍室にアイスの居場所は確保できそうです。

(クローバー)

大阪府市町村ボランティア連絡会代表者会議 次年度役員候補市町村を選出

2月25日、大阪府市町村ボランティア連絡会代表者会議が開かれ、次年度の役員改選に向けた議論が行なわれた。4ブロックから各役員候補市町村（左表参照）が選出され、5月に開会予定の総会で承認をいただくこととなります。

	河北	北摂	河南	泉州
会長		吹田市		
副会長	交野市	高槻市	太子町	泉大津市
会計	門真市			
監査			河内長野市	泉南市

次年度の役員選出にあたって、河北ブロック7市では4年前に過去の流れを尊重しながら、輪番制でその任に就くことを決めました。従って今回はその延長線上で門真市・交野市が役員を引き受けることになりました。その後、8市町村で役職の担当について話し合いを行い、会長職は吹田市が引続き担当いただき、副会長4人は各ブロックから1名、会計1名、監査2名を選出しました。担当役員氏名は各市町村で決め、5月の総会に



代表者会議・河北ブロックの様相

諮り承認をいただく予定です。午後からは、研修交流会が開催され、松原市・吹田市の活動発表、高石市・河南町の体験コーナー、羽曳野市・茨木市の展示コーナーなど、交流の輪が広がりました。

3月のボランティアサロン

ボランティア見学・体験者大募集 障がい者との交流「ほほえみ」の活動紹介

ボランティアに関して、知る、学ぶ、交流する会を毎月ひらいています。今月は、社会参加のしにくい方々との交流をおこなっているボランティアグループの「ほほえみ」の活動について紹介します。

- とき 3月14日(木)午前10時30分～12時
- ところ ボランティアセンター(1階)
- 対象 市内と周辺在住、在勤、在学の方
- 参加費 無料
- 申込み ボランティアセンター(072)894-3737

笑顔が弾ける春ソング
第29回を数える「春を呼ぶみんなのコンサート」が2月23日(土)門真市民文化会館ルミエールホールで開催されました。今年「くらじワークセンター」から総勢29人の出演者がピタリと揃った演技で「北海道ソーラン節を披露、法被姿に大漁旗、手作りの魚たちも隙間を泳ぎ、賑やかで楽しさいっぱいの演出でした。

手話歌をはじめ「昭和(ヤングマン)・平成(踊るポンポコリン)にありがとう」や、キレッキレのダンス「DA P A N P U・S・A」など、工夫を凝らした舞台が繰り広げられました。昨年同様、パナソニック・エコソリューションズ吹奏楽団の演奏、世界名作アニメ組曲など耳慣れたメロディーに参加者の笑顔が弾ける楽しい時間でした。来年は会場のルミエールホールが改修工事のため、第30回春コンは再来年の予定になります。



くらじワークセンターの皆さんが北海道ソーラン節を熟演

ボランティアセンター
FAX番号が変わります
3月29日(金)17時から
新FAX 891-3340

春は山菜の季節



弥生、草木が芽吹く春は山菜の季節でもある。ノビル、ツクシ、ヨモギ、ツワブキ、ワラビ、クサギ等々、交野の里山を少し歩けば

出会う走りの山菜だ。食物が乏しい時代、山で生まれ育った私は母が煮炊きする山菜で栄養を摂っていたのだろう。「醍醐味」としてモノクロ記憶で甦るのはクサギナの油炒めだ。山菜本によると、クサギ(臭木)の名の通り臭気は強いが、若葉を茹でて、一晩水に晒して調理すると「山菜の横綱格」とあった。

山菜は冬場のため込んだ老廃物を出してくれる効果もあるという。身近なノビルは球ごと茹でて結び、酢味噌で食べると美味しい。ツクシは袴を取って茹でて薄揚げなどと卵とじにすると素朴な味わいです。同じヨモギは、パンケーキ(写真上)や苺大福などにアレンジするのも楽しいです。(N)

「かざぐるま」新年会
「かざぐるま」の活動は、施設のお祭りなどの手伝い以外は、ほとんど個人での活動で、グループの人たちと顔を合わせることが少ないので1月31日少し遅めの新年会をしました。12名の参加で、すでに退会された方も2名参加してくださいました。美しく盛り付けられたお料理に楽しい会話の花が咲きました。(K記)



楽しい会話と美味しい食事を満喫

今どき プンちゃんのママ
現在、小学校4年生の子ども達が10年後に20歳になります。孫が丁度その年齢です。学校では「2分の1成人式」の行事があるそうです。赤ちゃんの頃の写真を紹介しながら将来の事を発表するようです。体育館であるので参観形式だとか。自分の10歳の頃は、将来の事など考えたことがなかったなあ。『ポーと生きてんじやねえよ』と、チコちゃんに叱られるような子どもでした。

みんなのひろば

産経新聞のコラム「朝の詩」に掲載された、横山津弥子(糸ぐるま)さんの詩を紹介します。

日本の朝
自己責任と言いながら
日本の朝を迎えられた人
行ってきますとも言えず
拉致されて
生死も知らされず
いつになったら日本の朝を迎えられるのか
早く帰して!

観客総立ちのチャリティーコンサート
2月17日(日)、聴覚障がい者施設のためのチャリティーコンサートが寝屋川アルカスホールで開催され、イベントのトップを切って同志社香里の中高生による切れの良いダンス、若さが溢れとてもカッコ良かったです。安藤美紀&一成トークショーは、親しみやすく、笑いあり、聴導犬アミーのパフォーマンスにも癒され、和やかな雰囲気にも包まれました。一成さんの歌も素晴らしく、みんなで両手を大きく広げ「Be happy」をして大いに盛り上がりました。
人気のHANDSIGN(ハンドサイン)の手話ダンス歌に魅了されました。湘南平塚市で唄われている歌から4つのダンス指導があり、観客総立ちでダンスにトライ！ノリノリムードいっぱいでした。
最後は自称、大阪副知事の「もずやん」が登場！ハンドサインが大阪府障がい者スポーツ・手話言語PR大使に任命され、就任式で幕を閉じました。盛りだくさんのパフォーマンスでアツという間に時間が過ぎ、楽しい時間を過ごしました。(さつきS)